

見上橋 橋梁補修設計業務 特記仕様書

1. 業務の目的

本業務は、御嵩町地内の橋梁において損傷、劣化の状況に応じて補修設計を実施し、工事施工に必要な詳細図面、工事数量等を作成することを目的とする。

2. 業務内容

業務内容は、以下の通りとする。

橋梁名 見上橋（ミアゲバシ）

路線名 町道中 273 号線（その他）

所在地 可児郡御嵩町中字屋下

橋梁諸元 橋長：50.8m 幅員：5.2m

橋梁形式：（PC）プレテンション単純T桁橋 逆T桁橋台 T型橋脚

竣工年次：1959 年

(1) 設計計画

業務を円滑に遂行するために、業務組織、業務工程等を取りまとめた業務計画書の作成を行う。また、検討に必要な情報収集を行うとともに設計条件の確認及び細部事項の検討を行う。

(2) 現地調査

現況調査

橋梁台帳、橋梁点検報告書、設計図書等資料に基づき、架橋地点の現地調査を行い、補修設計に必要な形状寸法、損傷劣化等を調査する。併せて、地形・地質等の状況、沿道、交差、用地条件等の周辺状況を把握し施工性の判断に必要な基礎的な現地状況を把握する。

(3) 補修工法検討

既往資料及び現地調査結果に基づき構造一般図、損傷、劣化図を作成し、構造図を作成する。

また、橋梁の損傷状況を踏まえ必要となる補修部位について、損傷劣化の要因、進行、安全性などの観点から診断し、新技術の採用など合理的な補修工法を選定する。

(4) 補修設計

補修工法検討により決定した工法の詳細構造を設計し、数量計算書、設計図の作成を行う。橋梁の対策に必要な補修設計を行うものとする。なお、橋梁現況調査の結果、補修設計項目の変更や追加が必要な場合は、協議により決定する。

(5) 関係機関との協議資料作成

補修工事に伴い必要となる河川管理者との協議用資料を作成する。

(6) 概算工事費算出

数量算出結果に基づき、工事の概算費用の算定を行うものとし、特殊工法の採用にあたっては必要に応じ見積り調査等を実施し、その費用の算定を行うこと。

(7) 照査及び報告書作成

本業務の調査、検討結果を照査するとともに、内容を取りまとめた報告書を作成する。

(8) 設計協議

設計打合せは、以下の 3 回とする。

- ・ 業務着手時
- ・ 中間時 (1 回)
- ・ 成果納入時
- ・ その他、疑義が生じた場合

(9) 成果品

成果品としては、以下の通りとする。

- ・ 報告書 (A4 版) 1 式
- ・ 電子媒体 1 部

特記仕様書

1. 妨害又は不当要求に対する通報義務

①受注者は、契約の履行に当たって、暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することがある。

②受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期限内に業務を完了することができないときは、御嵩町に履行期間の延長変更を請求することができる。

2. 入札参加資格に関する事項

御嵩町から、「御嵩町が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱」に基づく入札参加資格停止措置を、競争入札参加資格確認申請期限日から入札の日までの期間内に受けていないこと。又は同要綱別表に掲げる措置基準に該当しないこと。

3. その他

落札者及び落札者である共同企業体の構成員が、御嵩町から、「御嵩町が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱」に基づく入札参加資格停止措置を、入札の日から本契約締結の日までの期間内に受けたときは、当該落札者と契約を締結しないものとする。また、契約後に同要綱に基づく入札参加資格停止措置を受けた場合は、原則、契約を解除する。

4. 誓約書の提出

受注者は、暴力団関係者でないこと、暴力団関係者であるとの疑義が生じた場合に御嵩町が可児警察署に照会することに承諾し、確認できた情報を今後の契約等における身分確認に利用することに同意する旨の誓約書を契約締結時に提出すること。ただし、誓約書は一度提出されれば良いものとし、以後御嵩町と契約を行う場合は提出を不要とする。

御嵩町長と可児警察署長の間で締結された「御嵩町が行う事務事業から暴力団排除に関する合意書」（平成22年11月22日締結）に基づき、町が発注する建設工事、建設関連業務、森林整備業務及び物品調達等の契約から暴力団を排除する措置をおこなっています。